

「高校生ビブリオバトル愛知県大会2020」で紹介された本

※本のコメントは発表者の皆さんが考えてくれました。

| 番号 | 本のタイトル | 著者名 | 紹介コメント |
|----|--------------------|----------------------------------|---|
| 1 | 一瞬で人生が変わるすっごい呪文 | メンタリストDaiGo | あなたの悩みをすべて解決！『呪文』を唱えれば、メンタリズムを使って自らのメンタルを思い通りにコントロールできます。二十七の呪文をお楽しみください。 |
| 2 | 営繕かるかや怪異譚 | 小野 不由美 | 六つの短編から成る小説で、各話、昔ながらの古い家で恐ろしい現象「怪異」が起きます。怯え、困惑する人たちからの依頼を、「営繕かるかや」の尾端という男が解決します。でもその解決方法が少し変わっている…？ |
| 3 | 思えば豆腐へ来たもんだ | 姉ヶ崎 いずみ | 「寄らば大樹の陰」がモットーの主人公ユースケの転機にはいつも他人の存在があります。彼らの言葉は彼に良くも悪くも影響を与えます。私たちの日常生活の中で避けられない他人について考えさせられる一冊です。 |
| 4 | キャバレー | 栗本 薫 | ハードボイルドなのに、どこか繊細な二人の男の話。 |
| 5 | 饗宴 | プラトン著 久保 勉訳 | COVID-19の影響で外出、ましてや寄りあつまることがままならない昨今、ちょっと「哲学者たちの飲み会」にお邪魔してみませんか？二千年以上の時を超えた、珠玉の名作『饗宴』。皆様の心を潤すこと間違いナシ！ |
| 6 | 死ねばいいのに | 京極 夏彦 | この本は、不安や葛藤から逃れたい私たちに、解決する意欲ときっかけをあたえてくれます。言い訳ばかりしてしまう毎日から脱却したい人に読んでほしいです。 |
| 7 | 「スター・ウォーズ」を科学する | マーク・ブレイク、 ジョン・チェイス著 高森 郁哉訳 | 去年、遂に完結を果たした名作「スター・ウォーズ」。それを何倍もおもしろくしてくれるのがこの本です。この本では、「スター・ウォーズ」の虚実を科学で徹底検証していきます。読後、必ず科学が好きになります。 |
| 8 | その日のまえに | 重松 清 | 子供と子供、先生と教え子、友人と自分、青年と母親、夫の妻の”その日のまえ”をえがいた5つの物語。そして、この本を最初から読み返したくなるような、2つの物語。 |
| 9 | 探偵AIのリアル・ディープラーニング | 早坂 吝 | 賢くてかわいいAI探偵のアイとAI犯人のイアの本格推理対決です。AIだからこそそのトリックと推理と失敗と成長。ミステリー要素もAI要素も、見所いっぱいです。 |
| 10 | dele | 本多 孝好 | 「死後、誰にも見られたくないデータを、その依頼人に代わってデジタルデバイスから削除する」。口封じをされたジャーナリストや殺人犯など、依頼人は様々。死にゆく者が依頼に込めた想いとは… |

「高校生ビブリオバトル愛知県大会2020」で紹介された本

※本のコメントは発表者の皆さんが考えてくれました。

| 番号 | 本のタイトル | 著者名 | 紹介コメント |
|----|-----------|-------------------------------|---|
| 11 | 天国はまだ遠く | 瀬尾 まいこ | 死にたいと思った時に寄り添ってくれる本に出会ったことはありますか？もし、今死にたいと思っている人がいるのなら、この本を読んでみて下さい。この本が死にたいと思う人の助けになることでしょう。 |
| 12 | ノアの子 | エリック=エマニュエル・シュミット著 高木 雅人訳 | 政治や宗教による分断や紛争に苦しんだ第二次世界大戦の中、ユダヤ教徒の少年ジョゼフとキリスト教徒の神父との交流を通して、宗教の壁を越えた「愛することの大切さ」や「生きることの大切さ」を考える作品です。 |
| 13 | パラドックス13 | 東野 圭吾 | 13時13分13秒、突如街から人が消え、荒れ果てた東京。そして、この異世界に取り残された13人の男女。彼らにはある共通点があった。なぜ13人はここにいるのか。極限状態の中起こる人間ドラマは必見です。 |
| 14 | 本屋さんのダイアナ | 柚木 麻子 | 育った環境も性格も正反対の二人の少女ダイアナと彩子。共通点は本が好きなこと。二人は一瞬で腹心の友となるが―。試練を乗り越えて大人へと成長する姿を二人の視点によって描くダブルヒロイン小説です。 |
| 15 | 目を見て話せない | 似鳥 鶏 | 表紙やタイトルからは想像のできない、予測不能のミステリー。コミュ障の主人公の周りに起こる不可解な事件に巻き込まれていって…?! コミュ障ならば思わず「あるある」と言ってしまう一冊です。 |
| 16 | 物語北欧神話 上 | ニール・ゲイマン著 金原 瑞人、 野沢 佳織訳 | この神話に登場する神々は、一般的な神のイメージとは少し違っているかもしれない。悪戯も失敗もするし、欠点もある。北欧神話は、そんな人間味に溢れた魅力的な神々が、滅びの運命へと突き進んでゆく物語である。 |
| 17 | よるのばけもの | 住野 よる | 中学三年生、教室では誰もが何かにおびえながら過ごしている。自分を守るためのずるさや攻撃、不安や焦燥。夜にバケモノの姿になる安達は「バケモノ」とは何かを問いながら答えを見つけようとする。 |
| 18 | レゾンデートル | 知念 実希人 | 「レゾンデートル」とはフランス語で「存在理由」という意味です。同時に進む二つの事件が次々と展開されていくので、ページをめくる手がとまりません。 |

(2020年10月25日の予選では、16名が発表を行いました)